

ICTを活用した地域マネジメント研修

～鳥取県～

#地域づくり #ICT

目 的

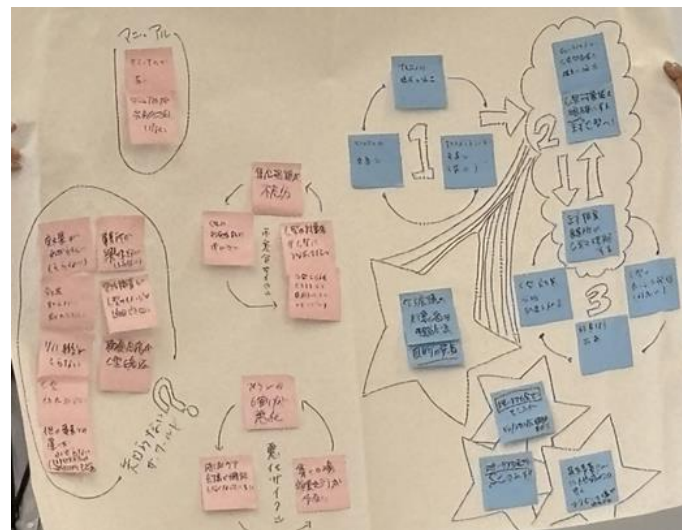
- 地域づくりを進めるためには、地域の定量情報や地域関係者からの定性情報を収集・分析、現状・課題の洗い出し、課題に対する施策検討・実行、施策実施後の評価というPDCA実行といった地域マネジメントが必要となる
- 講義や自立支援型サービス実態調査の模擬市町村事例を用いて、定量データの読み解きから課題抽出・整理、ICTを活用した自立支援に資する地域づくりのロードマップの参考例の解説を通じて、地域マネジメント力の向上を目指す

概 要

- 鳥取県の令和7年度市町村支援事業（オムロン株式会社へ委託）として、以下の内容により実施
- 一般社団法人 自立支援・地域づくり推進機構 代表理事 佐藤 孝臣 氏から、自立支援に資する地域づくりと効率的・効果的なケアマネジメントの推進についての講演
- オムロン株式会社担当者の進行により、模擬市町村を用いた課題抽出の演習を実施。佐藤 孝臣 氏（前出）から実践的な助言が受けつつ、意見交換を実施

主催・参加対象者

- 主催：鳥取県長寿社会課
- 参加対象者：
市町村介護予防担当者
地域包括支援センター職員
地域に関わるリハ専門職
保健所職員 等



演習の様子

ICTを活用した地域マネジメント研修

～鳥取県～

#地域づくり #ICT

当日の様子等

● 講義

一般社団法人 自立支援・地域づくり推進機構 代表理事 佐藤 孝臣 氏から、今必要な自立支援に資する地域づくりと効率的・効果的なケアマネジメントの推進についての講演を通じ、自立支援・介護予防が必要となる背景、地域づくりを進めるうえでの地域の定量情報や地域関係者からの定性情報の収集・分析、現状・課題の洗い出し、課題に対する施策検討・実行、施策実施後の評価というPDCA実行（地域マネジメント力）の重要性について理解を深めた。

● 演習

個人ワーク及びグループワークによる模擬市町村を用いた課題の抽出・整理、施策検討を行い、地域づくりロードマップ作成を模擬体験することにより、地域マネジメントを行う上でのポイント等について理解を深めた。

● 支援事業の紹介

講義、演習を通じて学んだロードマップ作成等を戦略的に実施していくためのICTを活用した支援の概要、事例紹介があった。



講義の様子

成果等

● 参加者から

「データから地域をみる、という視点がもてていなかった。データと日頃の活動をつなげて考えることが必要だと思った。」
 「データから地域をみるには、日頃からデータの蓄積、推移をみないといけないと思った。」
 「データの活用や分析ができていないと感じたので取り組んでいきたい。」
 「人材は増えないと思って業務を考えたほうが良いという言葉が響いた。」
 「今の人員で事業を進めるためには、業務の効率化は必要だと思う。ICT化は今の業務を見直すには効果的な手段だと知った。」
 「ICT化はまだ遠いイメージだったが、少し身近に感じる事ができた。」
 などの感想が聞かれた。

● 限られたマンパワーで戦略的に事業を実施していくための手段として、ICTを活用していくことについて考える機会となった。

民間企業の取組分析・評価ツール等を活用した支援(R6~)

市町村からの声

- 多様な視点での課題分析が不足。事業の有効性の見せ方が知りたい。
- 事業利用者の評価は行っているが、事業全体の効果検証が課題。
- 業務負担が増大する中で質を担保しながら効率化を図りたい。ICT導入について検討したい。

事業概要・スケジュール ※市町村の皆様の費用負担はありません

1 研修会 ▶県内全市町村への支援として研修会を開催。

内容：地域課題の把握方法や課題への施策として、ICTやデータを活用した先進事例の取組を知る。

対象：全市町村及び地域包括支援センター職員等

方法：集合形式で1回（7月4日）

2 現状・課題・分析支援

内容：企業独自の調査票による市町村の現状把握と課題分析（定量）

3 ICT導入提案支援▶総合事業に係る現状分析や課題把握、改善提案を実施。

市町村個別ヒアリング：最大3市町村

市町村個別事業提案支援：最大3市村

支援内容：ICT活用を検討している市町村に対しヒアリングを実施。2で実施する調査

結果及びヒアリング内容から、市町村の課題について整理。

課題解決並びに事業の効率化や職員の負担軽減、介護予防ケアマネジメントの質の向上にむけて、ICT導入や活用について事業提案。

方法：現地派遣やオンライン会議等により複数回／市町村

今後のスケジュール：5月中に個別支援の参加市町村決定。6月以降支援開始！